

第2章 いじめの未然防止

3 「道徳」を通して（中学校編）

1 いじめの芽を見逃さない


小さなトラブルがいじめに発展する前に、教師がいじめに対する認知力・感度を高めて、いち早くそれに気づき、適切に対応することはもちろん重要であるが、いじめの芽ともいえる小さなトラブルが発生しにくい雰囲気・文化を集団内に築いていくことも重要である。

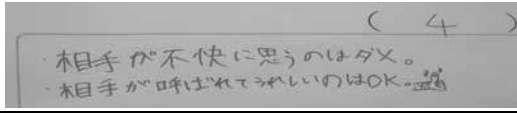
「あだ名」で呼ぶことは、生徒間でしばしばあり、次第にエスカレートしていじめに発展してしまうケースも少なくない。日頃から生徒が耳にしたり、口にしたりすることが多いと思われる「あだ名」について深く考えることで、生徒の人権感覚を高めていく。

2 言葉のもつ力といじめとの関係について考える

(1) 主題名 「言葉の力 ～あだ名から考える私たちの心～」(C2「公正、公平、社会正義」)

(2) 展開例

時間	学習活動	留意点
導入 10分	1 あだ名で呼ばれて嫌な思いをしたことがあるか、ワークシートに記入する。 ・発表（できる生徒のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ・発表したくない生徒に配慮する。 ・教師自身の体験談を語るのもよい。
展開	<p>2 近年、児童生徒同士のトラブルやいじめを防止するために「あだ名」を禁止する学校が全国的に増えていることを知り、このことに対する自分の考えを、班でディスカッションする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">あだ名は禁止すべきか？</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【朝日新聞に寄せられたある主婦からの投稿】 小学校に「あだ名禁止」というルールがあると聞いた。仲良くなり始めは互いの呼び名を考えるのが楽しいだろうに。私は「ゆうっこ」と呼ばれ、<u>それが友達の証拠なんだ、とうれしかった。</u>でも、<u>呼び名を丁寧にする</u>ことで相手を尊重する気持ちが生まれるかもしれない。 (朝日新聞 2018 4/17)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成（禁止すべき）…「いじめにつながる。」「変なあだ名を付けられたら嫌な気持ちになる。」「名前は大切にすべきだ。」 ・反対（禁止すべきでない）…「相手との距離が縮まる。」「親しみを込めていればよい。」「よいあだ名もある。」 ・賛成意見と反対意見をそれぞれ用紙にまとめる。（ディスカッションシート） <p>3 班で出た意見を学級全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4人班を構成し、ディスカッションシートを配付する。 ・中心発問 *ここでの「あだ名」とは、本来の名前以外での呼び方で、愛称・ニックネームも含む。 ◆下線部の2つの視点に気付かせる。 <div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成意見と反対意見をそれぞれ黒板に掲示する。

30分	<p>4 賛成意見、反対意見についてディスカッションし、あだ名についての班の考えをまとめる。(ディスカッションシート)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">あだ名についての考えをまとめよう。</p> <p>5 班で出た意見を全体で共有する。</p> 	<p>◆机間支援を行い、適切な助言をする。</p> <p>◆班の意見の「信頼関係」、「相手が嫌だと思えば…」、「思いやり」等のキーワードに注目させる。</p>
終末	<p>6 小森美登里さんの話を聞く。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> 【小森美登里さんが中学生にした話】 「…一人一人、みんな違う存在。傷つけられても仕方のない理由をもって生まれた命はありません。傷つけていい権利を持った命もありません…」 (「いじめで死に追いつめられた娘のメッセージを伝えたい」月刊清流 2005年 2月号) </p> <p>7 相手の心を傷つけるという視点から、言葉のもつ力について考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">小森さんのメッセージの[]に共通して入る言葉は何でしょう。(補助発問)</p>	<p>・小森美登里さんの経歴を紹介し、メッセージを提示する。(娘さんを言葉によるいじめで亡くし、現在全国で命についての講演会を行っている)</p> <p>◆[]をマスキングして類推させ、あだ名の良し悪しの境界を焦点化する。</p> <p>◆あだ名に限らず、よく吟味してから発話したり、行動したりしないと、相手を傷つけてしまうかもしれないことを示唆する。</p>
10分	8 自分の言葉の使い方を振り返りながら、思ったことや考えたことを書く。	(ワークシート)

言葉の力 ～ あだ名から考える 私たちの心 ～

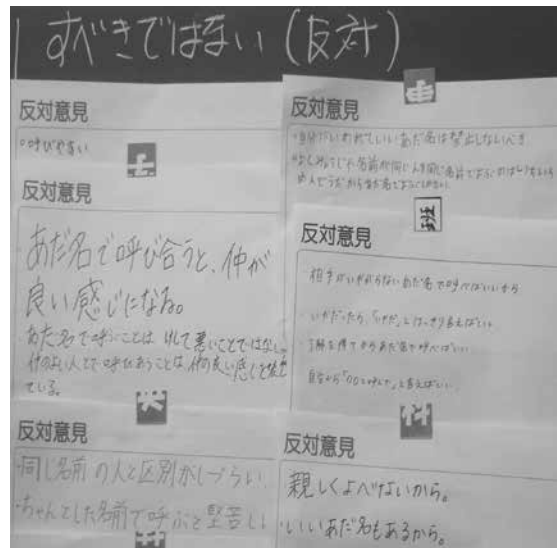
1年 組 番 氏名 _____

1 あなたは誰かにあだ名で呼ばれたことがありますか？
もしくは、誰かをあだ名で呼んでいることを聞いたことがありますか？

呼ばれたことがある。	○か×	あだ名で呼ばれて嫌な思いをしたことがありますか？ (どのような気持ちになりましたか？)
誰かをあだ名で呼んでいることを聞いたことがある。	○か×	それを聞いたときどんな思いをしましたか？ (どのような気持ちになりましたか？)

2 今日の授業を通して、自分の言葉の使い方を振り返りながら、思ったことや考えたことを書きましょう。

自身の発した
言葉が
未来を作る



- 何気ない言動や親しみを込めたつもりの方の言動でも、時には相手の心を傷つけたり、それがいじめに発展したりしてしまうことを理解する。
- 言葉のもつ力を考え、相手を思いやった言動を心掛ける気持ちを養う。
- 自己を振り返り、自分の言動を改善しようとする態度につなげる。